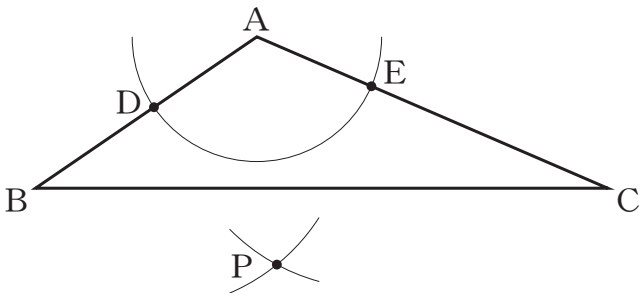
4　次の(１)から(３)までの各問いに答えなさい。

（１）次の図の△ＡＢＣにおいて，下の①，②，③の手順で直線ＡＰを作図します。



①　頂点Ａを中心として，辺ＡＢ，辺ＡＣの両方に交わる円をかき，その円と辺ＡＢ，辺ＡＣとの交点をそれぞれ点Ｄ，点Ｅとする。

②　点Ｄ，点Ｅを中心として，互いに交わるように等しい半径の円をかき，その交点の１つを点Ｐとする。

③　頂点Ａと点Ｐを通る直線をひく。

上の①，②，③の手順によって作図した直線ＡＰについて，△ＡＢＣがどんな三角形でも成り立つことがらが，下の**ア**から**エ**までの中にあります。正しいものを１つ選びなさい。

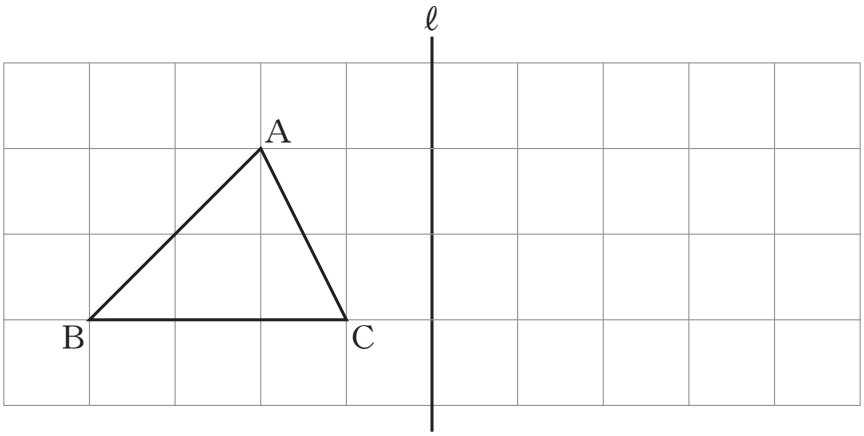
ア　直線ＡＰは，頂点Ａを通り直線ＢＣに垂直な直線である。

イ　直線ＡＰは，頂点Ａと辺ＢＣの中点を通る直線である。

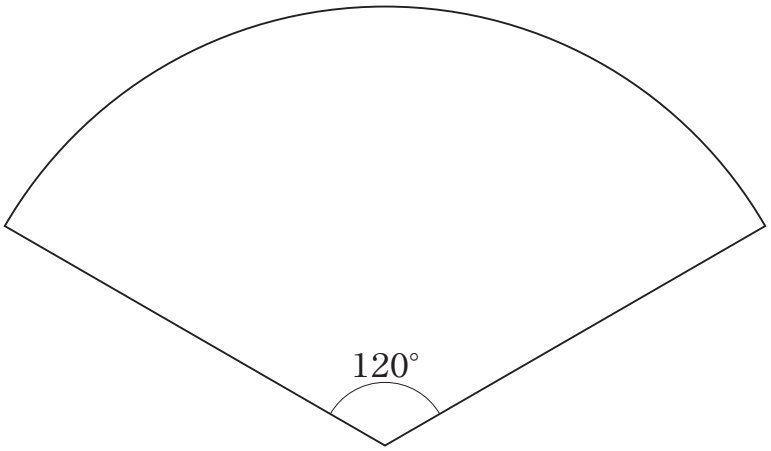
ウ　直線ＡＰは，直線ＢＣに平行な直線である。

エ　直線ＡＰは，∠ＣＡＢの二等分線である。

（２）下の図の△ＡＢＣを，直線ℓを軸として対称移動した図形を，解答用紙の方眼を利用してかきなさい。



（3）次の図のような中心角120°のおうぎ形があります。このおうぎ形の面積は，同じ半径の円の面積の何倍ですか。下の**ア**から**オ**までの中から正しいものを1つ選びなさい。



ア $\frac{1}{6}$倍　**イ** $\frac{1}{3}$倍　**ウ** $\frac{1}{2}$倍　**エ** $\frac{2}{3}$倍　**オ** $\frac{5}{6}$倍